

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	国際連合パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) 拠出金 (任意拠出金)		担当部局庁	国際協力局		作成責任者		
事業開始・ 終了(予定) 年度	昭和28(1953) 年		担当課室	緊急・人道支援課		課長 青木豊		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ－3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、 通知等	第4回国際連合総会決議302/4(1949年12月8日)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	パレスチナ問題の当事者であるパレスチナ難民の救済を実施するUNRWAを支援することで、人道的観点のみならず、主要な国際問題の一つである中東和平問題について、和平に向けて前進できるような環境作りのために国際社会の一員として貢献する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	ガザ地区、ヨルダン川西岸、ヨルダン、レバノン及びシリアに居住するパレスチナ難民約480万人に対し、教育(小中学校の運営、奨学金の提供、職業訓練など)、医療・保健(初期医療、第二次医療、母子保健など)、救済(食料支援、困窮家族救済、住宅改善支援など)、福祉(女性・身体障害者対象プログラムの実施、公民館の運営など)、小規模企業活動支援などの生活に最低限必要な公的サービスを提供する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	293	179	254	208	196	
		繰越し等	—	940	890	—		
		計	—	—	—	—		
	執行額		293	1,119	1,144	208		
	執行率(%)		100%	100%	100%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	パレスチナ難民の人間として尊厳のある生活の実現 (支援を受けたパレスチナ難民の数) (注)機関全体の目標及び実績		成果実績	万人	467	477	497	480
			達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①運営している学校数 ②年間患者診療数 ③運営している公民館数 ④小規模融資総額 (注)機関全体の指標及び実績		活動実績 (当初見込み)	①校数 ②千件 ③館数 ④千ドル	①691 ②11,083 ③38 ④218,507	①700 ②11,125 ③42 ④256,859	①480 ②10,700 ③36 ④301,996	— ()
単位当たり コスト	約211ドル/人		算出根拠	2012年総予算(約1,014百万ドル)÷パレスチナ難民数(約480万人) ＝211.25ドル				
平成 24・ 25 年度 予算 内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	国連パレスチナ難民 救済事業機関 (UNRWA)	208	196					
	計	208	196					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	中東地域の安定に貢献し、中東諸国との良好な外交関係を維持するために、UNRWAへの拠出を通じてパレスチナ難民問題に貢献することは重要であり、国が推進すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が高い場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	UNRWAは、パレスチナ難民の増加に伴い支援ニーズも増大傾向にあるが、それに見合うほどドナーからの拠出が伸びないこともあり、事業規模の縮小や組織改革を実施して支出の削減に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	UNRWAは、パレスチナ難民に対して行政サービスを提供する唯一の機関であり、実効性の高い手段となっている。他方、難民の増加に見合うほどドナーからの拠出が増額していないこと、不安定な中東情勢と政治・社会状況の緊迫化に伴う支援ニーズの増大などにより、事業の計画通りの実施に困難を伴うこともある。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	諮問委員会やバイ会談等の場を通じて、引き続き効率的な事業の実施を求めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	拠出額減額		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）		
縮減	任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減		
	補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	97	平成23年行政事業レビュー	92